

SCIENCE Letter NO.11

令和8年2月10日
神奈川県立座間高等学校 理科（1年）

選択：理数探究基礎 授業「生物多様性情報を蓄積するクラウドサイエンス」
～iNaturalistを起動して、マスターするまで～

令和8年1月13日（火）20日（火）7時間目に理数探究基礎の「生物多様性情報を蓄積するクラウドサイエンス」（全2回）を学習しました。この授業ではスマートフォンのアプリの「iNaturalist」というソフトを使いました。このソフトはこれは世界的なクラウドで、膨大な数の生物情報がすでに蓄積されています。iNaturalistは、スマホで生物の写真を撮影すると、AIがその種名を提案してくるので、それを登録すると、第三者がさらに種名を提案したり、同意したりして、データの確実性を高めていきます。また、位置情報はスマホから取得するので、マップに落としたり、緯度経度を入力したりする必要もありません。理科の教員も全ての生物の種名を網羅している訳ではないので、フィールドワークに出て答えられなかったり・・・と危惧するのですが、そんな不安を一掃してくれる助かるアプリなのです。（前回投稿したiNaturalistの説明です）

前回の投稿で担当がまずは理解し、CNCまでたどり着けるようにならないといけないことが分かりました。今回はそこにたどり着くまでの、軌跡をたどってみたいと思います。

発展学習内容

① iNaturalistをスマホにダウンロードしてみる。こんなロゴなのです。



② iNaturalistを知る。WEBページや前回来ていただいた麻布大学の学生の方が作成したYouTubeを参考にしました。

<https://www.inaturalist.org/observations>

観察記録・iNaturalist

https://youtu.be/IHVJ4hbYW8c?si=xc55d_1eWnpaXGg7
iNaturalistの使い方と実践

③ 自分のIDを決めて、他に使っている人がいなければ登録完了です。



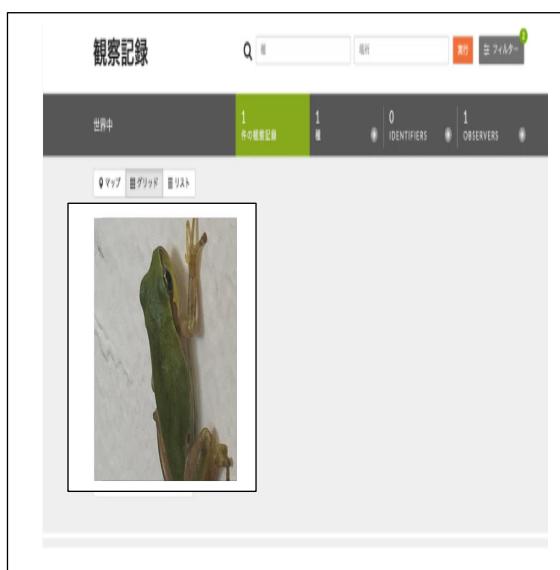
この画面が出たら、ほとんど完了です。後は生物の写真を撮ってきて投稿を始めます。
ここからは実際の写真をふまえて説明します。写真の注意はレター10参照

④ 今回投稿するのは、この写真！カエルです。



写真を投稿すると、自分で「種名」「写真を撮った日時」「写真を撮った場所」「メモ」を投稿することができます。

iNaturalist だと自動的に入りますが、旧式の iNaturalist classic だと自分でいれないといけません。



観察記録



観察記録に対して、候補を他の方が提案してくれました。



←2人以上の方がこの写真に対して、アマガエルでは？と提案してくれたので、この写真はアマガエルと認定されました！提案までの時間は1日もなかつたです。一緒に実習してもらった、学芸員さんによると昆虫や動物は早く提案がくるようです。

今回の内容を紹介してもらいました。

相模原市博物館 HP

[https://www.sagami-
portal.com/city/scmblog/page/2](https://www.sagami-portal.com/city/scmblog/page/2)

麻布大学 HP

[https://www.azabu-
u.ac.jp/topics/2026/0206_47957.html](https://www.azabu-u.ac.jp/topics/2026/0206_47957.html)